



しののめYMCAこども園 園だより

2017年度7月号

発行者：こども園園長 堀江和広

聖句 「互いに愛し合いなさい」

わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。
これがわたしの掟である。

7月の聖句

「天よ、喜び祝え、地よ、喜び躍れ」 詩編 96 編 11 節

7月12日～14日、2泊3日で恒例の「年長・山中湖キャンプ」が行われます。
このキャンプは、開園当初から実施してきた園行事のひとつで、初年度3名の年長さんと私を含む4名の教員で行いました。今では総勢100名近い人数でキャンプを実施できるようになりました。

他園では「お泊り保育」と呼ばれ、土曜日の昼過ぎから夕食のカレーを作り、食後にはゲーム大会等の楽しいプログラムを行い、その夜幼稚園に泊り、翌朝、保護者の方々が迎えに来ると言う1泊のスケジュールが基本で行われています。園児たちにとって、1泊であれ2泊であれ、大好きなお父さんやお母さんから離れ、宿泊する事は、とても寂しく不安なものです。然しながら1泊の場合は、ひと晩過ぎればお父さんやお母さんと会う事ができるので、少し寂しくても我慢して乗り越える事ができます。

こども園のキャンプは2泊です。寂しさを我慢し、乗り越え迎えた2日目を、一人ひとりがどんな気持ちで、どのように取り組んでいくのかを私たちは大切にしています。

朝、キャビンから出て来る事から始まり、礼拝、朝食、カヌー、焼き板作り、キャンプファイヤーとスケジュールは進んでいきます。全ての場面で、誰もが笑顔で友だちと過ごす事の楽しさを知って欲しいと願っています。さらに、焼き板やカヌー等のアクティビティー体験を通じ、その楽しさや面白さ、そして楽しさを体験して欲しいと願っています。

新しい気づきや発見を通じて得られるワクワク感や達成感が、いつの間にか寂しさや不安な気持ちを払拭し、子どもたちの顔つきは自信に充ち溢れ、不安な表情から笑顔へと変化していきます。園児たちはそのような葛藤を繰り返して成長していきます。私たち大人は焦らず、じっくり見守りながら応援していかなくてはならないと思います。キャンプ後に見せてくれる笑顔が今から楽しみです。

園長 堀江 和広